

復興応援団だより

2016.10/N053
発行元：
一般社団法人
復興応援団
代表：佐野哲史
広報チーム
0226-25-9897

愛知県高校生スタディツアー

8月4日(木)5日(金)に愛

知県の高校生約40人が震災や復興の様子を学びに南三陸町にやって来ました。私たち復興応援団は、町内を案内したり復興の担い手のもとで一緒に作業をしました。この愛知県高校生スタディツアーは、2013年以来今回で通算10度目となります。毎回参加してくれる熱心なファンも何人

の思いを、東北の復興に少しでも繋げていきたい、改めてそんな思いを抱くことができました。

(東北大学・加藤優志)

↑ふりかえりの様子



復興応援塾

8月31日(水)に南三陸ホテル観洋にて、「復興応援塾」を実施しました。ホテル観洋にインターン生として来ている東京の大学生を対象として、南三陸町の復興の担い手から多角的に復興を学ぶ、座学形式のプログラムです。

今回は、町内でカフェ「ちょこつと」を経営する成澤英子さんを講師にお招きしました。震災直後の避難生活の様子や、町内の復興の難しさなどのお話を伺い、大変勉強になりました。プログラムの最後には、大学生の方から「復興のために自分にできること」の発表がありました。「南三陸町に観光に来る」、「南三陸町の食材を使ったメニューを学校の食堂に出す」など、本当に自分のできることは何か、ということとを真剣に考えていました。発表されたことが実現して、

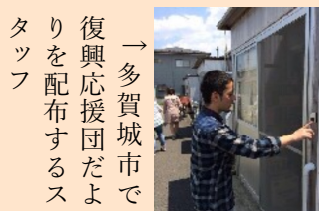
復興に少しでも繋がれば素敵だなど思いました。(東北大学・中澤拓也)



成澤さんのお話を聞く大学生たち

復興応援団とは？

私たちは、「地元の方」が主役の復興「復興」を目指し、主に南三陸町と多賀城市で活動しています。南三陸町では、地元の復興の担い手の元に全国からボランティアを派遣。復興のお手伝いを通じて南三陸の魅力に触れてもらい、中長期的に復興を支える「ファン」になってもらおう取り組みをしています。多賀城市では、「復興応援団だより」を仮設住宅全戸にお届



けするなど、住民のみなさんが中心となったコミュニティづくりを応援しています。そのような活動を通じて、地元の人自身が復興とまちづくりに立ち上がる大きなうねりを起こすことを目標としています。

↑南三陸町で被災地の状況を学ぶ参加者

→多賀城市で復興応援団だよりを配布するスタッフ

高校生100人が防災を学ぶ

8月23日(火)に、防災士をめざす都立高校生100人を対象とする研修を行いました。現地高校生との交流・被災地視察・ボランティア体験という2泊3日のプログラムのなかで、復興応援団は南三陸町でのボランティア体験をコーディネートしました。

みこの海バック・乾物袋詰めと、それぞれの作業を体験してもらいました。今後の東京の防災の先頭に立つ高校生たちにとって、南三陸町の担い手と共に汗を流した経験は貴重なものになると思います。今後も東北の叡智を他の地域や若い世代に繋げていく努力を続けていきたいと思えます。

100人規模で現場4つという複雑な運営で、私たち学生スタッフがかなり緊張しましたが、無事に終えることができました。

(東北学院大学・木村達海)